

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公表番号】特表 2002-534248 (P2002-534248A)

【公表日】平成 14 年 10 月 15 日 (2002.10.15)

【出願番号】特願 2000-592080 (P2000-592080)

【国際特許分類】

**B 0 5 B 1/02 (2006.01)**

**B 0 1 D 45/04 (2006.01)**

**B 0 1 D 51/06 (2006.01)**

**C 1 0 L 3/10 (2006.01)**

【F I】

B 0 5 B 1/02

B 0 1 D 45/04

B 0 1 D 51/06 A

C 1 0 L 3/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 7 日 (2006.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】超音速にてミスト流を生成するための収束 - 発散形状のノズルであり：

- 特有の直径  $D^*$  を有するスロート；
- 特有の直径  $D_1$  を有し、ノズルスロートの上流の距離  $L_1$  に位置する入口及び、
- 特有の直径  $D_2$  を有し、ノズルスロートの下流の距離  $L_2$  に位置し、 $L_2 / (D_2 - D^*)$  の比が 5.0 より大きく 22.0 より小さい出口を有する該ノズル。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】主としてガス流の成分の超音速分離用慣性分離器であり、前記請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のノズルと、その下流において分離される成分のための少なくとも 1 つの出口及び残留ガス流用の少なくとも 1 つの出口を有する分離部分とを含む該慣性分離器。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】分離部分の上流でかつノズルの下流に渦誘発器を有する請求項 4 に記載の慣性分離器。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】主としてガス流の成分を超音速分離する方法であり、請求項 4 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の慣性分離器を使用する該方法。